



2021年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2021年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 オリックス株式会社

コード番号 8591 URL <https://www.orix.co.jp/grp/company/ir/>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 井上 亮

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五唐 裕也 TEL 03-3435-3000 (代表)

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,665,694	△3.0	193,703	△18.2	209,581	△40.2	142,015	△41.9
2020年3月期第3四半期	1,717,785	△4.4	236,722	△8.3	350,458	18.7	244,319	3.4

(注) 当社株主に帰属する四半期
包括利益 2021年3月期第3四半期 129,493百万円 (△43.1%) 2020年3月期第3四半期 227,756百万円 (△0.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主 に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	114.27	114.17
2020年3月期第3四半期	190.99	190.82

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	13,324,491	3,002,214	2,938,261	22.1
2020年3月期	13,067,528	3,065,835	2,993,608	22.9

(注) 1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。

2. 株主資本比率は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	35.00	—	41.00	76.00
2021年3月期	—	35.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	41.00	76.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2021年3月期の配当の予定については、2020年11月2日に公表いたしました「剰余金配当（中間配当）および期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	当社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%
通期	190,000	△37.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

(注) 詳細は【添付資料】13ページ「2. 四半期連結財務諸表等（6）会計方針の変更（新たに適用された会計基準）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	1,313,954,980株	2020年3月期	1,324,629,128株
------------	----------------	----------	----------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	91,332,186株	2020年3月期	68,680,644株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	1,242,764,847株	2020年3月期3Q	1,279,195,980株
------------	----------------	------------	----------------

(注) 2021年3月期第3四半期連結会計期間末および2020年3月期連結会計年度末において、役員報酬BIP信託（役員報酬のうち、将来支給する株式報酬に充当するもの）として保有する当社株式、それぞれ2,197,628株および1,476,828株は、期末自己株式数に含めていませんが、1株当たり情報の算出において控除する自己株式として含めています。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。これらの将来に関する記述に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

将来に関する記述と異なる結果を生じさせる原因となる要素は、当社が関東財務局長に提出しています有価証券報告書の「事業等のリスク」、アメリカ合衆国証券取引委員会（SEC）に提出していますForm 20-Fによる報告書の「リスク要因（Risk Factors）」に記載されていますが、これらに限られるものではありません。

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算の概況	2
(1) 連結経営成績	2
(2) 連結財政状態	9
2. 四半期連結財務諸表等	10
(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書	11
(3) 四半期連結包括利益計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 会計方針の変更	13
(7) セグメント情報	14
(8) 重要な後発事象	15

1. 当四半期決算の概況

(1) 連結経営成績

第3四半期連結累計期間の経営成績

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
営業収益 (百万円)	1,717,785	1,665,694	△52,091	△3%
営業費用 (百万円)	1,481,063	1,471,991	△9,072	△1%
税引前四半期純利益 (百万円)	350,458	209,581	△140,877	△40%
当社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	244,319	142,015	△102,304	△42%
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益 (基本的) (円)	190.99	114.27	△76.72	△40%
(希薄化後) (円)	190.82	114.17	△76.65	△40%
ROE (当社株主資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算) (%)	11.0	6.4	△4.6	—
ROA (総資本・当社株主に帰属する 四半期純利益率、年換算) (%)	2.60	1.43	△1.17	—

(注) ROEは、米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を用いて算出しています。

業績総括（2020年4月1日から2020年12月31日まで）

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、生命保険料収入および運用益や商品および不動産売上高が増加したものの、サービス収入やオペレーティング・リース収益が減少したため、前年同期の1,717,785百万円に比べて3%減の1,665,694百万円になりました。

営業費用は、生命保険費用が増加したものの、支払利息やサービス費用が減少したため、前年同期の1,481,063百万円に比べて1%減の1,471,991百万円になりました。

上記に加え、持分法投資損益が前年同期の54,226百万円に比べて96%減の2,077百万円、子会社・関連会社株式売却損益および清算損が前年同期の58,488百万円に比べて84%減の9,436百万円になりました。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当第3四半期連結累計期間の税引前四半期純利益は、前年同期の350,458百万円に比べて40%減の209,581百万円、当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期の244,319百万円に比べて42%減の142,015百万円になりました。

セグメント別動向

当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、前年同期に比べて38%減の231,430百万円となりました。

2020年4月1日より、経営上の最高意思決定者による業績の評価および経営資源の配分におけるセグメント区分を変更したため、報告セグメントの区分を変更しました。なお、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度末のセグメント数値は、変更後のセグメント区分に基づいて組替再表示しています。

2020年4月1日より、これまで各セグメントに配賦してきた販売費および一般管理費のうち、オリックスグループ全体で負担すべき費用については、各セグメントへ配賦する方法から、セグメント利益と四半期連結財務諸表との調整額に含めて表示する方法に変更しています。なお、この変更により、前第3四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。

2020年4月1日より、会計基準書アップデート第2016-13号(金融商品の信用損失の測定—会計基準編纂書326(信用損失)) (以下、「信用損失基準」)を適用しています。詳細については、「(6)会計方針の変更(新たに適用された会計基準)」をご参照ください。

各セグメントの当第3四半期連結累計期間の動向は以下のとおりです。

法人営業・メンテナンスリース：金融・各種手数料ビジネス、自動車および電子計測器・IT関連機器などのリースおよびレンタル、弥生

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	321,201	318,673	△2,528	△1
セグメント利益	49,797	41,191	△8,606	△17

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,789,693	1,690,586	△99,107	△6

セグメント収益は、法人営業において投資先や弥生株式会社のサービス収入が増加したものの、金融資産の減少に伴う金融収益の減少や商品売上高の減少により、前年同期に比べて1%減の318,673百万円になりました。

上記に加え、オペレーティング・リース原価およびサービス費用が増加したこと、および法人営業において買収した企業のバーゲン・パーチェス益を前第3四半期連結累計期間に計上したことの反動により、セグメント利益は、前年同期に比べて17%減の41,191百万円になりました。

セグメント資産は、リース純投資、営業貸付金およびオペレーティング・リース投資が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて6%減の1,690,586百万円になりました。

不動産：不動産開発・賃貸・管理、施設運営、不動産のアセットマネジメント

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	332,859	253,921	△78,938	△24
セグメント利益	57,958	15,603	△42,355	△73

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	821,194	834,678	13,484	2

セグメント収益は、新型コロナウイルス感染症の影響により当第3四半期連結累計期間において運営施設の休館や稼働率低下のため運営事業のサービス収入が減少したこと、株式会社大京およびその子会社において前年同期消費税増税の駆け込み需要の反動により不動産請負工事が減少したためサービス収入が減少したことや不動産売上高が減少したこと、および賃貸不動産の売却益が減少したことにより、前年同期に比べて24%減の253,921百万円になりました。

上記に加え、セグメント利益は、運営事業のサービス費用が減少したものの、高齢者向け住宅の運営事業を行う子会社の売却益を前第3四半期連結累計期間に計上したことの反動により、前年同期に比べて73%減の15,603百万円になりました。

セグメント資産は、賃貸不動産の売却によりオペレーティング・リース投資が減少したものの、棚卸資産や賃貸資産前渡金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて2%増の834,678百万円になりました。

事業投資・コンセッション：企業投資、コンセッション

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	223,891	243,903	20,012	9
セグメント利益	43,656	4,257	△39,399	△90

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	322,522	398,970	76,448	24

セグメント収益は、前第3四半期連結累計期間に子会社を売却したことによりサービス収入が減少したものの、投資先の商品売上高が増加したことにより、前年同期に比べて9%増の243,903百万円になりました。

セグメント利益は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、関西3空港における旅客数や発着回数が著しく減少したことによりコンセッションにおいて持分法投資損益が減少したこと、および企業投資において子会社の売却益を前第3四半期連結累計期間に計上したことの反動により、前年同期に比べて90%減の4,257百万円になりました。

セグメント資産は、当第3四半期連結会計期間に子会社取得に伴う営業権やオペレーティング・リース投資を計上したことにより、前連結会計年度末に比べて24%増の398,970百万円になりました。

環境エネルギー：国内外再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	112,912	103,448	△9,464	△8
セグメント利益	11,585	17,794	6,209	54

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	478,796	479,280	484	0

セグメント収益は、電力販売の減少によりサービス収入が減少したため、前年同期に比べて8%減の103,448百万円になりました。

セグメント利益は、サービス費用の減少やインドで風力発電事業を行う投資先を完全子会社化したことによるパーゲン・パーチェス益を計上したことにより、前年同期に比べて54%増の17,794百万円になりました。

セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて横ばいの479,280百万円になりました。

保険：生命保険

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	293,296	359,208	65,912	22
セグメント利益	43,577	50,663	7,086	16

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,580,158	1,887,966	307,808	19

セグメント収益は、保有契約の増加に伴う生命保険料収入の増加および変額保険にかかる資産運用益が増加したため、前年同期に比べて22%増の359,208百万円になりました。

上記に加え、セグメント利益は、変額保険に関連する最低保証リスクの低減による責任準備金の戻入などを計上したことにより、前年同期に比べて16%増の50,663百万円になりました。

セグメント資産は、投資有価証券の増加により、前連結会計年度末に比べて19%増の1,887,966百万円になりました。

銀行・クレジット：銀行、カードローン

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	62,830	63,071	241	0
セグメント利益	29,441	36,959	7,518	26

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	2,603,736	2,707,265	103,529	4

セグメント収益は、クレジットにおけるモーゲージバンク事業からのサービス収入および銀行事業における投資用不動産ローンからの金融収益が増加したものの、クレジットにおいて金融収益が減少したことにより、前年同期に比べて横ばいの63,071百万円になりました。

セグメント利益は、クレジットにおいて新規実行件数の減少や事故発生率の低水準での推移の影響から、当第3四半期連結累計期間の信用損失費用が減少したことにより、前年同期に比べて26%増の36,959百万円になりました。

セグメント資産は、銀行事業において投資用不動産ローンの残高が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて4%増の2,707,265百万円になりました。

輸送機器：航空機のリース・管理、船舶関連投融资

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	46,392	22,569	△23,823	△51
セグメント利益	33,294	3,116	△30,178	△91

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	585,304	559,971	△25,333	△4

セグメント収益は、航空機リース事業において自社保有機数および売却機数の減少に伴いオペレーティング・リース収益が減少したことや投資家への売却機数の減少に伴う手数料収入が減少したこと、および前第3四半期連結累計期間に計上した船舶の売上高の反動により、前年同期に比べて51%減の22,569百万円になりました。

上記に加え、セグメント利益は、Avolon Holdings Limitedの持分法投資損益が減少したことにより、前年同期に比べて91%減の3,116百万円になりました。

セグメント資産は、船舶関連の営業貸付金が減少したこと、および航空機リース事業において関連会社投資が減少したことにより、前連結会計年度末に比べて4%減の559,971百万円になりました。

ORIX USA : 米州における金融、投資、アセットマネジメント

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	100,054	95,084	△4,970	△5
セグメント利益	50,289	27,548	△22,741	△45

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,374,027	1,235,854	△138,173	△10

セグメント収益は、不動産ローン組成・サービシング事業において新規案件数の増加により金融収益が増加したものの、第1四半期連結会計期間にアセットマネジメントに関連する事業ラインを売却したことによりサービス収入が減少したため、前年同期に比べて5%減の95,084百万円になりました。

上記に加え、セグメント利益は、前第3四半期連結累計期間に計上したHoulihan Lokey, Inc. などの株式売却益の反動により、前年同期に比べて45%減の27,548百万円になりました。

セグメント資産は、営業貸付金の減少により、前連結会計年度末に比べて10%減の1,235,854百万円になりました。

ORIX Europe : 株式・債券のアセットマネジメント

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	117,923	116,759	△1,164	△1
セグメント利益	25,112	25,916	804	3

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	317,847	337,172	19,325	6

セグメント収益は、有価証券売却・評価損益および受取配当金が増加したものの、前第4四半期連結会計期間の株式相場下落に伴い当第3四半期連結累計期間における受託資産の平均残高が前年同期比で減少したことによりサービス収入が減少したため、前年同期に比べて1%減の116,759百万円になりました。

セグメント利益は、販売費および一般管理費が減少したことにより、前年同期に比べて3%増の25,916百万円になりました。

セグメント資産は、投資有価証券が増加したこと、および為替の影響により営業権、企業結合で取得した無形資産が増加したことにより、前連結会計年度末に比べて6%増の337,172百万円になりました。

アジア・豪州：アジア・豪州における金融、投資

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント収益	106,337	92,818	△13,519	△13
セグメント利益	26,076	8,383	△17,693	△68

	前連結会計 年度末 (百万円)	当第3四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減	
			金額 (百万円)	率 (%)
セグメント資産	1,010,268	1,017,211	6,943	1

セグメント収益は、サービス収入や金融収益が減少したこと、および前第3四半期連結累計期間にアジアにおける既存投資先の有価証券売却益を計上したことの反動により、前年同期に比べて13%減の92,818百万円になりました。

上記に加え、セグメント利益は、アジアにおいて子会社・関連会社株式売却益を計上したものの、関連会社投資の減損を計上したことにより持分法投資損益が減少したため、前年同期に比べて68%減の8,383百万円になりました。

セグメント資産は、関連会社投資やリース純投資が減少したものの、為替の影響により、前連結会計年度末に比べて1%増の1,017,211百万円になりました。

（2）連結財政状態

資産、負債、株主資本の状況

	前連結会計 年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減	増減率
総資産 (百万円)	13,067,528	13,324,491	256,963	2%
（うち、セグメント資産）	10,883,545	11,148,953	265,408	2%
負債合計 (百万円)	9,991,362	10,322,277	330,915	3%
（うち、長短借入債務）	4,616,186	4,707,945	91,759	2%
（うち、預金）	2,231,703	2,341,173	109,470	5%
当社株主資本 (百万円)	2,993,608	2,938,261	△55,347	△2%
1株当たり当社株主資本 (円)	2,386.35	2,407.57	21.22	1%

（注）1. 株主資本は米国会計基準に基づき、当社株主資本合計を記載しています。

2. 1株当たり株主資本は、当社株主資本合計を用いて算出しています。

総資産は、リース純投資、営業貸付金および関連会社投資が減少し、さらに信用損失基準適用に伴い前連結会計年度末の貸倒引当金に比べ信用損失引当金が増加したものの、投資有価証券が増加したため、前連結会計年度末の13,067,528百万円に比べて2%増の13,324,491百万円になりました。また、セグメント資産は、前連結会計年度末に比べて2%増の11,148,953百万円になりました。

負債については、支払手形、買掛金および未払金が増加した一方で、預金、長短借入債務、保険契約債務および保険契約者勘定が増加したことで、前連結会計年度末の9,991,362百万円に比べて3%増の10,322,277百万円になりました。

当社株主資本は、前連結会計年度末に比べて2%減の2,938,261百万円になりました。

2. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表(米国会計基準)

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2020年12月31日)		前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間末 (2020年12月31日)
現金および現金等価物	982,666	998,058	短期借入債務	336,832	371,455
使途制限付現金	152,618	134,980	預金	2,231,703	2,341,173
リース純投資	1,080,964	1,033,515	支払手形、買掛金および未払金	282,727	212,617
営業貸付金	3,740,486	3,699,810	保険契約債務および保険契約者勘定	1,591,475	1,765,677
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した以下の金額を含む)			(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した以下の金額を含む)		
2020年3月31日	90,893百万円		2020年3月31日	300,739百万円	
2020年12月31日	97,321百万円		2020年12月31日	290,273百万円	
貸倒引当金	△56,836	—	未払法人税等	356,350	367,997
信用損失引当金	—	△80,866	長期借入債務	4,279,354	4,336,490
オペレーティング・リース投資	1,400,001	1,401,071	その他負債	912,921	926,868
投資有価証券	2,245,323	2,546,696	(負債合計)	9,991,362	10,322,277
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した以下の金額を含む)			償還可能非支配持分	10,331	—
2020年3月31日	25,295百万円		契約債務および偶発債務		
2020年12月31日	8,772百万円				
(以下の売却可能負債証券の償却原価と 信用損失引当金を含む)					
2020年12月31日					
償却原価	1,905,978百万円				
信用損失引当金	—百万円				
事業用資産	562,485	568,976	資本金	221,111	221,111
関連会社投資	821,662	774,404	資本剰余金	257,638	242,845
受取手形、売掛金および未収入金	312,744	294,615	利益剰余金	2,754,461	2,758,457
棚卸資産	126,013	147,343	その他の包括利益累計額	△118,532	△131,054
社用資産	203,930	222,509	自己株式(取得価額)	△121,070	△153,098
その他資産	1,495,472	1,583,380	(当社株主資本合計)	2,993,608	2,938,261
(公正価値オプションを選択し、 公正価値評価した以下の金額を含む)			非支配持分	72,227	63,953
2020年3月31日	18,206百万円		(資本合計)	3,065,835	3,002,214
2020年12月31日	7,293百万円				
資産合計	13,067,528	13,324,491	負債・資本合計	13,067,528	13,324,491

(注) 1. その他の包括利益累計額内訳

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末
未実現有価証券評価損益	△5,001	△9,254
金融負債評価調整	1,457	814
確定給付年金制度	△26,375	△26,176
為替換算調整勘定	△72,471	△81,446
未実現デリバティブ評価損益	△16,142	△14,992
	△118,532	△131,054

2. 2020年4月1日より、信用損失基準を適用しており、貸倒引当金を信用損失引当金に組み替えています。詳細については、「(6) 会計方針の変更(新たに適用された会計基準)」をご参照ください。

3. 2021年3月期第2四半期より、関連会社貸付金に対する信用損失引当金は関連会社投資に含めて表示しています。なお、2020年3月期以前について、関連会社貸付金に対する貸倒引当金はありませんでした。

(2) 四半期連結損益計算書(米国会計基準)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業収益		
金融収益	205,630	201,230
有価証券売却・評価損益および受取配当金	27,666	27,502
オペレーティング・リース収益	321,428	296,520
生命保険料収入および運用益	290,656	356,147
商品および不動産売上高	280,127	290,541
サービス収入	592,278	493,754
営業収益計	1,717,785	1,665,694
営業費用		
支払利息	74,006	60,811
オペレーティング・リース原価	215,587	220,465
生命保険費用	209,137	265,278
商品および不動産売上原価	245,747	247,138
サービス費用	367,521	313,393
その他の損益	14,997	15,007
販売費および一般管理費	337,754	334,928
貸倒引当金繰入額	15,724	—
信用損失費用	—	10,166
長期性資産評価損	554	591
有価証券評価損	36	4,214
営業費用計	1,481,063	1,471,991
営業利益	236,722	193,703
持分法投資損益	54,226	2,077
子会社・関連会社株式売却損益および清算損	58,488	9,436
バーゲン・パーチェス益	1,022	4,365
税引前四半期純利益	350,458	209,581
法人税等	102,649	64,266
四半期純利益	247,809	145,315
非支配持分に帰属する四半期純利益	3,131	3,323
償還可能非支配持分に帰属する四半期純利益(△損失)	359	△23
当社株主に帰属する四半期純利益	244,319	142,015

- (注) 1. 2020年4月1日より、信用損失基準を適用しており、貸倒引当金繰入額を信用損失費用に組み替えています。詳細については、「(6) 会計方針の変更(新たに適用された会計基準)」をご参照ください。
2. 2021年3月期第2四半期より、関連会社貸付金に対する信用損失費用は持分法投資損益に含めて表示していません。

(3) 四半期連結包括利益計算書(米国会計基準)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	247,809	145,315
その他の包括利益(△損失)		
未実現有価証券評価損益	1,277	△4,227
金融負債評価調整	136	△643
確定給付年金制度	492	196
為替換算調整勘定	△16,585	△11,617
未実現デリバティブ評価損益	△3,560	1,271
その他の包括利益(△損失) 計	△18,240	△15,020
四半期包括利益	229,569	130,295
非支配持分に帰属する四半期包括利益	1,584	1,105
償還可能非支配持分に帰属する四半期包括利益(△損失)	229	△303
当社株主に帰属する四半期包括利益	227,756	129,493

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更

(新たに適用された会計基準)

2016年6月、信用損失基準が公表され、その後、それを修正するアップデートが公表されました。これらのアップデートは、多くの金融資産の信用損失の測定方法および認識方法の重要な変更をしています。新たな予想損失モデルは、これらのアップデートの適用対象となる金融資産の残存期間に発生することが見込まれる予想信用損失の見積もりをただちに認識することを要求しています。また、これらのアップデートは、売却可能負債証券の減損モデルに限定的な複数の修正を行っています。当社および子会社は、これらのアップデートを2020年4月1日に適用期の期首の利益剰余金額を累積的に調整する方法により適用しています。信用損失引当金の見積方法の変更により、営業貸付金、リース純投資等の金融資産および金融保証契約やローンコミットメント契約のオフバランスシート信用エクスポージャーに対する信用損失引当金が増加しました。当社および子会社の適用日における財政状態への主な影響は、連結貸借対照表上、信用損失引当金が31,745百万円の増加、オフバランスシート信用エクスポージャーに関連するその他負債が28,294百万円の増加、利益剰余金が42,855百万円の減少でした。

2017年1月、会計基準書アップデート第2017-04号(営業権の減損テストの簡素化—会計基準編纂書350(無形資産—営業権とその他))が公表されました。このアップデートは、従来2つのステップによる営業権の減損テストのうち、第2ステップを削除しています。第2ステップの代わりに、営業権の減損は、報告単位の帳簿価額が公正価値を超過する金額により測定されることとなります。また、ゼロ以下の帳簿価額をもつ報告単位について定性的評価を実施し、定性的テストの結果、減損している可能性が50%超であると判断された場合に、営業権の減損テストの第2ステップの実施を要求する規定を削除しました。当社および子会社は、このアップデートを2020年4月1日に適用しています。このアップデートの適用による当社および子会社の経営成績および財政状態への影響については、今後の営業権の減損テストの結果によります。

（7）セグメント情報（米国会計基準）

事業の種類別セグメント情報

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）		当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）		前連結会計年度末 （2020年3月31日）	当第3四半期 連結会計期間末 （2020年12月31日）
	セグメント収益	セグメント利益	セグメント収益	セグメント利益	セグメント資産	セグメント資産
法人営業・ メンテナンスリース	321,201	49,797	318,673	41,191	1,789,693	1,690,586
不動産	332,859	57,958	253,921	15,603	821,194	834,678
事業投資・ コンセッション	223,891	43,656	243,903	4,257	322,522	398,970
環境エネルギー	112,912	11,585	103,448	17,794	478,796	479,280
保険	293,296	43,577	359,208	50,663	1,580,158	1,887,966
銀行・クレジット	62,830	29,441	63,071	36,959	2,603,736	2,707,265
輸送機器	46,392	33,294	22,569	3,116	585,304	559,971
ORIX USA	100,054	50,289	95,084	27,548	1,374,027	1,235,854
ORIX Europe	117,923	25,112	116,759	25,916	317,847	337,172
アジア・豪州	106,337	26,076	92,818	8,383	1,010,268	1,017,211
セグメント計	1,717,695	370,785	1,669,454	231,430	10,883,545	11,148,953
四半期連結財務諸表（連 結財務諸表）との調整	90	△20,327	△3,760	△21,849	2,183,983	2,175,538
連結合計	1,717,785	350,458	1,665,694	209,581	13,067,528	13,324,491

- (注) 1. 当社の業績評価は、税引前四半期純利益に税効果控除前の非支配持分に帰属する四半期純利益および償還可能非支配持分に帰属する四半期純利益を加減しています。なお、セグメント利益には税金費用は含まれていません。
2. 2020年4月1日より、経営上の最高意思決定者による業績の評価および経営資源の配分におけるセグメント区分を変更したため、報告セグメントの区分を変更しました。なお、前第3四半期連結累計期間および前連結会計年度末のセグメント数値は、変更後のセグメント区分に基づいて組替再表示しています。
3. 2020年4月1日より、これまで各セグメントに配賦してきた販売費および一般管理費のうち、オリックスグループ全体で負担すべき費用については、各セグメントへ配賦する方法から、セグメント利益と四半期連結財務諸表との調整額に含めて表示する方法に変更しています。なお、この変更により、前第3四半期連結累計期間のセグメント数値を組替再表示しています。
4. 2020年4月1日より、信用損失基準を適用しています。詳細については、「（6）会計方針の変更（新たに適用された会計基準）」をご参照ください。
5. セグメント間の取引を各セグメント収益に含めて計上し、その消去を四半期連結財務諸表との調整に含めて計上しています。

(8) 重要な後発事象

当社は、2020年11月2日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得を終了し、2019年10月28日開催の取締役会決議に基づく自己株式の消却を実施しました。決算日後に取得した自己株式および消却した自己株式は、以下のとおりです。

(1) 自己株式の取得状況

- ・ 取得した株式の種類 : 当社普通株式
- ・ 取得した株式の総数 : 3,130,100 株
- ・ 株式の取得価額の総額 : 5,280,520,400 円
- ・ 取得期間 : 2021年1月1日～2021年1月8日
- ・ 取得方法 : 自己株式取得にかかる取引一任契約に基づく市場買付

(ご参考) 上記取締役会決議に基づき、2021年1月8日までに取得した自己株式の累計

- ・ 取得した株式の種類 : 当社普通株式
- ・ 取得した株式の総数 : 28,230,500 株
- ・ 株式の取得価額の総額 : 44,199,883,050 円
- ・ 取得期間 : 2020年11月9日～2021年1月8日
- ・ 取得方法 : 自己株式取得にかかる取引一任契約に基づく市場買付

(2) 自己株式の消却

- ・ 消却した株式の種類 : 当社普通株式
- ・ 消却した株式の総数 : 28,230,500 株
- ・ 消却日 : 2021年1月29日